

- 1 図書室で、みちるは借りたかった本が最後の一冊だと気づいた。手をのばしたそのとき、となりの下級生も同じ本に手をのばした。みちるは少し考えて、「どうぞ」とその本をゆずった。

★ 気持ちが 分かる ことばや ようすに 線を 引こう。

このとき、みちるの 気持ちに いちばん 近いものは どれ？

- ① あせり
- ② いらだち
- ③ おどろき
- ④ 思いやり

こたえ

- 2 遠足の朝、空は黒い雲におおわれていた。ゆうきは「中止かもしれない」と、かばんを何度も見た。ところが出発のころには雲が切れ、青空が広がった。ゆうきは大きく手をふって歩き出した。

★ 気持ちが 分かる ことばや ようすに 線を 引こう。

ゆうきの気持ちは、はじめと おわりで どう 変わりましたか。

- ① 心配 → がっかり
- ② 心配 → 安心
- ③ がっかり → 安心
- ④ 期待 → がっかり

こたえ

- 3 わたしは妹のケーキを、つい先に食べてしまった。妹が「わたしの、ないの？」と言ったとき、わたしは何も言えず、下を向いた。あやまろうとしても、なかなか言葉が出てこなかった。

★ 気持ちが 分かる ことばや ようすに 線を 引こう。

このとき、わたしの 気持ちに いちばん 近いものは どれ？

- ① 気まずさ
- ② 安心
- ③ いらだち
- ④ 満足

こたえ

1 こたえ：④ 思いやり

★線をひくところ（赤いことば）

図書室で、みちるは借りたかった本が最後の一さつだと気づいた。手をのばしたそのとき、となりの下級生も同じ本に手をのばした。みちるは少し考えて、「どうぞ」とその本をゆずった。

手がかり： 借りたかった本なのに、

少し考えて（あわててはいない＝あせり・おどろきではない）『どうぞ』とゆずった（いらだててはいない）＝相手を先にする思いやり。

2 こたえ：② 心配 → 安心

★線をひくところ（赤いことば）

遠足の朝、空は黒い雲におおわれていた。ゆうきは「中止かもしれない」と、かばんを何度も見た。ところが出発のころには雲が切れ、青空が広がった。ゆうきは大きく手をふって歩き出した。

手がかり： はじめは黒い雲で『中止かも』と心配（まだ中止ではないので、がっかりではない）→終わりは青空で大きく手をふる＝安心してよろこぶ。

3 こたえ：① 気まずさ

★線をひくところ（赤いことば）

わたしは妹のケーキを、つい先に食べてしまった。妹が「わたしの、ないの？」と言ったとき、わたしは何も言えず、下を向いた。あやまろうとしても、なかなか言葉が出てこなかった。

手がかり： 妹に『わたしの、ないの？』と言われ、

何も言えず下を向く（満足・安心ではない）／あやまろうとしても言葉が出ない（いらだちではない）＝自分が悪いと感じる気まずさ。